

## 令和6年4月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 日時 令和6年4月12日(金) 10:00~12:00
- 場所 仙台市役所上杉分庁舎 12階教育局第1会議室
- 出席委員 阿部哲也委員, 安藤直美委員, 泉山靖人委員, 齋藤愛委員, 高橋美和委員, 高橋由臣委員, 内藤良介委員, 中山慎也委員, 沼里理恵委員, 野原昌之委員, 朴賢淑委員, 松本大委員, 若生彩委員
- 事務局職員 天野教育長, 岩城副教育長, 伊勢生涯学習部長, 武者生涯学習支援センター長, 小幡生涯学習課長, 加藤生涯学習課主幹, 三澤生涯学習課企画係長, 細川生涯学習課生涯学習係長, 生涯学習課生涯学習係 金光寺主査, 間宮主査, 生涯学習課企画係 松澤主事

### ○会議の概要

- 1 委嘱状交付
- 2 教育長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 開会
- 5 委員長及び副委員長の選出について

仙台市社会教育委員会議規則第2条に則り, 委員長及び副委員長の選出を行った。委員長には松本委員を, 副委員長には朴委員をとの推薦があり, 全会に承認された。

併せて, 仙台市社会教育委員の会議実施要領第6条に則り, 会議録への署名は委員長と, 委員長が名簿の順に指名する委員が行うこととした。

### 6 報告事項

#### (1) 仙台市社会教育委員の会議の概要について

社会教育委員の会議の概要について, 資料6に基づき事務局より説明した。

#### (2) 仙台市の生涯学習事業について

仙台市の生涯学習事業について, 資料7に基づき事務局より説明した。

#### [質問・意見等]

中山委員 8ページに市民センター利用者数が載っている。コロナ禍での激減については納得できるどころであり, 今後, 令和5年度, 6年度と回復してくると思うが, 教育委員会として数字的にこうなるとよいというものはあるのか。前の数字に戻ったり, 超えたりするとよいと思うのはあると思うが, コロナ禍で見方や考え方が変わった点もあるはずなので, 個人的には必ずしも元通りにならなくともよいのではないかと考える。催しものが再編成されたり, シェイプアップされたり, 内容もよくなっているということがあると思う。そのあたりをどう考えているのか伺いたい。

生涯学習支援センター長 基本的には, 数字が戻るとよいと素直に思っている。やはりコロナ禍で地域活動あるいは学習活動というものが, 自己制限も含めてどうしても少なくなってしまった。そこからまた活発になってくるとよい, また, それを促していきたいというところが基本である。

ただ、全て元のとおりによればよいわけでもないことはご指摘のとおりで、コロナ禍での経験も踏まえ、オンラインでの打合せ等ブラッシュアップできる部分があるため、事業にうまく取り入れながらやっていきたいと考えている。

中山委員 市民センターに限らず、そうだろうなというふうに思う。数字については費用対効果の点で議会から言われがちなところだと思うが、数字が全てではないということがわかっていただけるとよい。

若生委員 市民企画講座についてももう少し伺いたい。

生涯学習支援センター長 生涯学習支援センター及び市民センターで、市民企画員の方に企画していただく事業を積極的に展開している。地域づくりができる人材を育てることが社会教育であるという考えのもと、自分たちで学びを組み立て、地域社会へ還元するという姿が望まれると思う。

若生委員にも、防災・減災の講座に参画いただいているが、昨年度も大学の先生や漫画家等、地域でさまざまな活動をしていらっしゃる方、在仙の方だけでなくいろんな方をご紹介いただき、企画を立てていただいた。

そのほか、各地区の市民センターでも、それぞれ地域の実行委員の皆さんと連携し、地域の課題を解決するような事業や、さまざまなイベント、子どもたちに対する支援等、楽しみながら学んだことを還元する事業を行っている。

中山委員 9ページの博物館について、リニューアルオープンということで、博物館スタッフも新たにやってみたいことや復活したい事業等があるのではないかと思う。ボランティア活動も含め、そういったことをやりやすいように支援していただきたい。

10ページの科学館もまもなくリニューアルオープンだと思うので、オープン後の賑わいや、授業とはまた別の、社会教育の方も期待している。

齋藤委員 利用者数について、市民センターにさまざまな講座があることは知っているが、我々の世代はなかなか利用する機会がないと思っている。数字が増えたり、元に戻ったりしても、多世代にわたって利用者が増えるということには繋がらないのではないか。足を運ぶ時間がない世代が多かったり、参加しにくい時間帯にイベントが開催されていたりするということがあると思う。利用者の年代層にももう少し多様性があるとよいと思う。

子育て世代として、仙台は遊ぶ場所がないのが課題だと思っている。新潟にはこども創造センターという市営施設があり、子どもが思い切り遊べる場所である。箱ものをつくるのは難しいと思うが、既存施設等を使い、親子で楽しめる場所にしていただけると、利用者数の面でも、利用の中身としてももっと充実したものになるのではないかと思う。

内藤委員 6 ページの家庭教育の支援について、「家族がともに学び、ふれあう機会づくりの推進」が掲げられている。親子で楽しんでいただくというのは非常に重要なことで、ともに学ぶということが世代間交流にも繋がってくると思うので、現在の取組や実績について伺いたい。

生涯学習課主幹 仙台市の家庭教育支援というと、当課に関わるものと、こども若者局や健康福祉局、各子育て支援施設等で行っている事業がある。

当課では、新入学児童の保護者を対象とした子育て支援講座の推奨を行っている。また、早寝早起き朝ごはん等が各家庭で取り込まれるように、親子で食育に関して学べる親子食育講座を実施する学校に、委託料を出している。

生涯学習支援センター長 家庭教育や子育てに関わる講座・事業は全市民センターで実施することとしており、赤ちゃんとのふれあいや、「ジュニアリーダーとあそぼう」等、それぞれの地域の実情に合わせて展開している。

日中に、積極的に参加できる条件が整うのは高齢世代が多いというのは当然かと思うので、市民センターとしても、子育て世代にどうやって情報を届けるかということや、積極的に関わっていただくきっかけづくりについて考えているところである。

前期に研究いただいたいわきり子育てネットワークの活動が象徴的だが、その他の地域でも学校と連携し、子どもたちが主体的に学んだり、活動したりする取組がある。

また、児童館を併設している市民センターも多く、児童館での講座も実施している。児童館を入口に、市民センターと一体的にご利用いただければと思う。仙台市に大規模な施設がないというのはご指摘のとおりかと思うが、市民センターとしては、まずは地域に根ざした活動に取り組んでいる。

### (3) 令和6年度教育委員会組織及び社会教育関係予算について

令和6年度教育委員会組織及び社会教育関係予算について、資料8、9に基づき事務局より説明した。

〔質問・意見等〕

松本委員長 図書館費が大幅に増えているのはなぜか。

生涯学習課長 図書館の改修工事によるものである。

## 7 協議事項

### (1) 令和6年度社会教育関係団体に対する補助金について

令和6年度社会教育関係団体に対する補助金について、資料10、11に基づき事務局より説明した。

〔質問・意見等〕

若生委員 仙台市社会教育活動事業運営費補助金について、予算額35万円という

この金額で長きにわたって交付いただいているが、ここ数年の経済状況の変化で本当にさまざまな物が値上がりしている。それに伴い、社会学級研究大会の会場費や印刷等に使うインク、紙代が非常に高騰したほか、印刷代も高くなってしまった。それらを個人会費として集めた中から、交通費を支給しながらやりくりしている。各学級の運営委員長が集まり、全市民向けの研究大会を実施するための総務委員や、広報誌を作成するための広報委員といった委員会活動を行っている。10、20回と会議を重ねる中で、削減に努めているもののどうしても経費がかかってくるため、少し補助金が上がらないかと思う。

また、個人会費を集めるために参加者を増やしたいが、コロナ禍の影響もあり、学校の校長先生方が研究会の活動に参加しなくてもよいという話をされ、参加いただけないことがある。そういった場面で協力をいただけたら、今年75周年を迎える社会学級研究会は、今後も持続可能な団体として活動していけるようになるのではないかと考えている。

生涯学習課長 現在、燃料費や物価等が高騰している中で、なかなか補助金の額を上げていけないということは非常に心苦しく思っている。社会教育活動の補助金だけではなく他の部分でも、前年度並みをキープしているという状況であり、その点についてはご理解をいただきたいと思う。社会学級研究会の中で連携し、なお事業の充実に努めていただいているところは非常によい取組だと考えており、そういった連携、横のつながりというようなソフト面での支援に関して力を尽くしたいと考えている。

若生委員 校長先生から研究会に参加するようにお声がけいただけると、個人会費が増え、負担が和らぐと思う。実際に参加された方は、参加してよかったですとおっしゃることが多い。自分の学区だけではなく他の学区や区のことを知ることができる情報交換の場にもなっているため、関係者の皆さんに参加について勧めていただけるよう、図っていただきたいと思う。

松本委員長 他の団体も含めて、この予算額が適切かという、団体と教育委員会との交渉というか打合せのようなものがあるかと思われるので、そのあたりを来年度に向けて取り組んでいただきつつ、この補助金以外の助成金をどのように獲得していくのかという助言についても、教育委員会の方で進めていただければと思う。そういう意味ではPTA運営費補助金が減額になっているのが気になるところだが。

高橋委員 他の団体は例年並みという中で、この減額はこういった理由なのか私も伺いたい。

生涯学習課長 予算要求としては例年どおり要求したものの、全体調整の中であおりを受ける形となってしまう、我々としても苦渋に感じているところで、来年

度については元に戻すよう努力していきたいと考えている。

高橋委員 コロナ禍により PTA 活動においても人と会えず、何もできない状態というのが続き、オンライン会議や、ウェブ上でさまざまな動画を載せるといった手法をとり、いろいろ削減した。PTA は子どもが卒業すると人も会長も替わるので、コロナ禍以前のノウハウがまるでなくなってしまった。プール開放にしても、以前は 150 校以上で開放していたのが、ノウハウがなく再開できない学校が多くある。PTA 協議会としても子どもたちの健全育成のために、関連団体や地域の方のお力もお借りして、本来の学校の運営や、子どもたちの健やかな成長につなげる働きかけをしていかなければならないと考えている。令和 6 年、7 年と活動を再開する学校が多くなることを目指しているの、予算の方も元通りになるようお願いしたい。

松本委員長 補助金について、他にご質問等なければ、本日の議事は以上となる。

## 8 その他

委員長より、次回の会議では今期審議するテーマについて協議すること、関心のあるテーマがあれば各委員より事務局へ提案いただきたいこと、今後の進め方について説明があった。

## 9 閉会

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第 4 条及び第 5 条に基づき会議録を作成し、同要領第 6 条に基づき委員長及び会議録署名人が署名する。

令和 6 年 7 月 10 日

委員長（署名欄）

松本 大

署名委員（署名欄）

阿部 哲也

